

地下鉄に乗った。私のつれは、アメリカ人の友人と彼女の10歳になる娘だ。地下鉄は駅に止まり、あわただしく乗客の乗り降りがなされ、やがて、再び車中に元の落ち着きがもどった。立つ人のない車内の中央に、黒い定期入れがポツンと取り残こされているのがわかったのは、そんな時だった。座わっている人々の視線がいつせいに注がれるや否や、私の隣りに座わっていた娘は、持っていたカバンを床に投げだし、それをつかんだ。そして、

「私、次の電車で行くから、先に行つてね」

と、私達の方に行くと、パッと地下鉄を飛び降り、落し主らしい女性の後を追った。娘が降りるとすぐ、ドアは静かに閉まり、地下鉄はゆっくりとホームを離れ始めた。窓からは、一生懸命話をしてる娘の後ろ姿が見えた。

ほんの数秒の、でき事だった。来日し

てまもなく、日本語のほとんどしゃべれぬ娘を残して地下鉄は動き始めた。娘の母親である私の友人は、地下鉄がホームを離れる時、ちらっと娘の方を向いたが、動き出してから、何事もなかったように、私との会話の続きを始めた。心配そうにしている私に向かって、「大丈夫よ」と、娘を信頼しきった声でいった。

娘は次の地下鉄でやって来た。落し主は見つからなかったとかで、手には、黒い定期入れが握られていた。私は、娘をつれて、駅員室に行き、わけを話すと、「持ち主から、お礼の電話をさせますから、電話番号と名前を書いて下さい。」と、メモ用紙をわたされた。娘は、ペンに力をこめて書き付けた。書き終わると満足そうな笑顔と共に、それを駅員にわたした。

「きつと電話あるわよ」というと、娘は再びニコツとした。私も一緒にニコツとした。

(管)

## 幼児の教育 第八十四巻 第九号

九月号 ①

定価三五〇円

昭和六十年八月二十五日 印刷

昭和六十年九月一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 田 和 子  
発行人

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

●本誌御購読についての御注文は発売所  
所フレイベル館にお願いいたします